

局所皮弁の手術結果についての幾何学的考察

1. 研究の対象

2017年4月～2019年3月に防衛医科大学校病院形成外科にて「局所皮弁術（皮弁形成術）」の手術を受けられた方のうち、「転位皮弁」と「回転皮弁」を同時に用いた術式を受けた方。

2. 研究目的・方法

目的：外傷や腫瘍の治療後により生じる組織欠損を再建するために、皮弁という外科手技が用いられます。ただ傷をふさぐだけでなく、機能的・審美的に優れた結果となるように、外科医は日常の手術の中で少しずつ工夫と改善を繰り返しています。その中で新たな術式や手技が生まれることも少なくありません。「転移皮弁」と「回転皮弁」は古くから用いられている局所皮弁ですが、本研究ではその両方を同時に用いた術式を検討します。そして安全で良い結果をもたらす皮弁デザインとは何かを考察し、今後の診療に役立てることを目的とします。

方法：診療時に撮影させていただいた写真のデジタル画像を用います。画像解析ソフトで皮弁の面積や移動角度などを計測し、効率の良い皮弁形成術が行えていたか考察します。

研究期間：学校長承認後～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：手術時年齢、性別、病歴、治療歴、合併症の有無などの情報はすべて匿名化して研究に利用します。臨床写真のデジタル画像（顔面など個人を特定しうる画像）は目隠し処理するなど、プライバシー保護に努めます。

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 3

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

會沢哲士（研究責任者）

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2 防衛医科大学校形成外科

電話 04-2995-1211

研究責任者：防衛医科大学校形成外科 會沢哲士